

【様式】

令和3年度 学校マネジメントシート

学校名 ( 四日市西高等学校 )

1 目指す姿

(1) 目指す学校像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主・自律をモットーに、地域から信頼される活力ある進学校を目指します。</li> </ul>	
(2)	育みたい 児童生徒像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら学ぶ喜び、わかる楽しさを実感できる生徒。</li> <li>・生徒一人ひとりの持つ力を伸ばし、それぞれの目指す進路を実現できる生徒。</li> </ul>
	ありたい 教職員像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育の専門集団として力を高め、協働して活力ある教育活動を創造できる教職員。</li> <li>・「信頼」を軸に、生徒、保護者はじめ全ての関係者との絆を深め、安全で安心して学べる教育環境を創造できる教職員。</li> </ul>

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒は、学習指導などを通して、粘り強く進路実現をしたいと望んでいます。しかし、やや受動的傾向があり、自分から積極的な行動に移せない面がみられます。</li> <li>・保護者は、様々な情報提供を受けて、子どもの成長を実感し、本人が望む進路選択をさせたいと望んでいます。</li> <li>・地域からは、地元の中学生が入学したいと思える、頼れる学校であってほしいと期待されています。</li> </ul>	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の保幼小中からは、模範となる高校生としての行動を期待されています。</li> <li>・保護者からは、生徒が自己実現を果たせるよう、希望する大学や上級学校などへ円滑に接続できる、確かな学力や生きる力をつける指導が期待されています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・桜地域の高校として、本校の教育活動に理解・支援をしていただくとともに、忌憚のない意見や提言をいただきたい。</li> <li>・小中高の一層の連携を深め、地域全体で生徒を育む取組を一緒に進めていただきたい。</li> </ul>
(3) 前年度の学校関係者評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に自分たちが決めた目標を達成できなかった場合に分析を行い、目標数値を適切に修正して改善を図る必要がある。</li> <li>・各分掌から出た改善課題については時間をとり全職員で共有を図る必要がある。</li> <li>・改善課題については「選択と集中」を考慮して取り組むべきである。「達成した」という満足感を教員が得られるものにすべきである。</li> </ul>	
(4) 現状と課題	教育活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本校は創立47年目の普通科高校で、16,338人の卒業生は地元をはじめ全国各地で活躍している。平成7年度に比較文化・歴史コース、続いて平成15年度には数理情報コースを新設し、普通科の中から、さらに学びの視野を広げ、難関大学への進学という自己実現を図りたいとする要望に応えることとした。平成25年度入学者選抜から、前期選抜でコース定員の25%、後期選抜で残り75%を両コースのくくり募集としています。</li> <li>・今年度、近隣3中学校(桜・菰野・三滝)から入学者の約4分の1にあたる26%であり、本校の教育活動が地域から評価と信頼を得ていると判断できます。一方で生徒の学力幅や個性は以前よりも広くなり、一人ひとりの状況に対して満足いく高校生活や進路を実現させていくことが引き続きの課題です。</li> </ul>
	学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本校は、800人近い生徒が在籍する高校として、安全で安心して学べる教育環境づくりに努めています。</li> <li>・大規模地震等災害に備え、四日市市の指定避難所として地域住民の防災避難訓練等を受け入れています。</li> <li>・教職員の総勤務時間の縮減と勤務の平準化が課題となっていることから、教職員の健康管理に留意しつつ継続的に様々な取組を行う必要があります。</li> <li>・教員による不祥事が県内で発生していることから切れ目なく職務に対する責任感を認識させることや管理職に相談しやすい雰囲気作りに努める必要があります。</li> </ul>

### 3 中長期的な重点目標

教育活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習指導               <ul style="list-style-type: none"> <li>① ICTを活用した質の高い授業の創造に努め、生徒が自ら学ぶ喜び、わかる楽しさを実感出来るよう授業の充実を図ります。</li> <li>② 教科マネジメントを確立することにより、学びの仕組みを十分に機能させ、基礎学力の定着と自ら設定した進路希望を実現するための、確かな学力の定着を図ります。</li> </ul> </li> <li>○生活指導               <ul style="list-style-type: none"> <li>① 生徒の自己指導能力向上を図ります。</li> <li>② 高い規範意識と公共の場での倫理観を確立させます。</li> <li>③ 学校行事・課外活動を通して活力のある西校生を育成します。</li> </ul> </li> <li>○進路指導               <ul style="list-style-type: none"> <li>① 教職員は生徒の進路希望の実現に向けて、個人面談及びそのための情報共有の質を向上します。</li> <li>② 教職員は生徒の学習活動を重視し、希望実現に必要な学力の向上・定着のための支援の向上を行います。</li> <li>③ 教職員は進路指導および高大接続にかかわる各種情報を整理、対応し情報発信を行います。</li> </ul> </li> <li>○保健管理               <ul style="list-style-type: none"> <li>① 生徒の健康状態や健康課題を適切に把握し、生徒が自らの健康課題に取り組めるような機会を設けるとともに、教員・生徒が安心して学ぶことのできる安全で適切な学校環境を確保します。</li> <li>② 関係職員との連携をより充実させ、同じ見通しを持って生徒を支援します。</li> </ul> </li> <li>○人権教育               <ul style="list-style-type: none"> <li>① 教職員は「人権教育はすべての教育活動の前提である」という認識に立って教育活動を行います。</li> <li>② いじめ防止対策基本方針をふまえ、組織的に未然防止・早期発見・早期対応に努め、「いじめを許さない」学校づくりに取り組みます。</li> <li>③ 人権学習を通じての気づきや学びを、人権問題の解決のために自分の生活や社会状況を変えていこうとする意識につなげます。</li> </ul> </li> </ul>
学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校運営全般               <ul style="list-style-type: none"> <li>① 高大接続改革、新学習指導要領の実施等の教育改革に対応しうる学習の仕組みや授業の在り方について、カリキュラムマネジメント構築を図ります。</li> <li>② 教育活動全般にわたり効果的なマネジメントに努め、その結果をもとに学校関係者評価活動に取り組むことで、学校マネジメントの質を高め、教育活動の向上に努めます。</li> <li>③ 教職員が対話を通して関係づくりに努め、業務の平準化を図り支え協力し合うことを通して組織能力を高め、やり甲斐を持って教育活動に邁進できる満足度の高い学校づくりをします。</li> <li>④ 年休取得の促進や、定時退校日に定時退校できるよう業務を整理することなどを定着させ、教職員の総勤務時間の縮減に努め、健康管理と健康維持の取組を行います。</li> <li>⑤ コンプライアンスミーティングを定期的に開催することで教職員の不祥事を発生させない土壌づくりに努めます。</li> </ul> </li> </ul>

### 4 本年度の行動計画と評価

#### (1) 教育活動

教育活動に関する項目は、児童生徒を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「教育課程・学習指導」「キャリア教育(進路指導)」「生徒指導」「保健管理」など  
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」:定期的に進捗を管理する取組 「◎」:最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
1 学習指導の充実	(1) 授業交流に関し、プロジェクター等、ICT機器の利用促進を兼ね、「利用後アンケート」等を絡めたうえで再活性化を図ります。 <b>※授業交流状況</b>	・7割強の教員が授業等において2回に1回以上の頻度でICT機器を利用した。	

<p>2 生徒指導 の充実</p>	<p>(2) 総合的な探究の時間における具体的な指導内容及び標準的日程の確立を図ります。 <b>※進捗状況</b></p> <p>(1) 通学マナー向上と交通事故ゼロを目指します。</p> <p>(2) スマートフォンの適切な取り扱いを身につけさせます。 <b>※講習実施及び指導状況</b></p>	<p>・進路探究委員会を各学期 1 回開催し在り方を協議した。</p> <p>・2 学期に地域の方から通学マナーの指摘を頂いた。自転車自損事故 8 件。</p> <p>・携帯マナー講座は 1 年を対象に実施。生徒間のトラブルは特に聞いていない。</p>
<p>3 特別活動 の充実</p>	<p>(1) 学校行事・クラブ活動・生徒会活動・ホームルーム活動における支援を充実させます。 <b>※生徒満足度</b></p>	<p>・アンケートで 90%以上の満足度。コロナ禍でも可能な限り学校行事の実施を望む保護者の声もあった。</p>
<p>4 進路指導 の充実</p>	<p>(1) 進路に関する知識や情報を収集・理解し、面談や検討会を通じて進路実現への道筋を用意します。 <b>※生徒満足度</b></p> <p>(2) 自発的な学習習慣、進路意識の育成のため学年と連携し、生徒の学習支援活動を行います。 <b>※指導状況及び進路結果</b></p> <p>(3) 進路及び入試に関する各種データや情報を分析し、ガイダンスなどにおいて ICT を活用します。 <b>※ガイダンス実施状況</b></p>	<p>・3 回の進路検討会で個々の合格可能性を探る。3 年進路満足度 99.3% (満足・やや満足)</p> <p>・夏期課外、早朝課外等に多数の生徒が参加した。</p> <p>・コロナ禍でオンラインも併用して外部講師を招いてガイダンスを実施した。</p>
<p>5 人権教育 の充実</p>	<p>(1) 教職員への人権推進計画の内容の周知及び人権関係の広報に努めます。 <b>※実施状況</b></p> <p>(2) 人権教育推進計画を見直し、PTA 共催人権講演会や意識の定着と実践行動できる資質を涵養します。 <b>※アンケート分析</b></p>	<p>・委員会を通じて取組を共有した。HP を活用した広報は十分ではなかった。</p> <p>・いじめを演題に田中哲也氏に講話を拝聴した。各学期末のアンケート内容は迅速に学年で聞き取った。</p>
<p>6 保健管理 の充実</p>	<p>(1) コロナ禍の新しい生活様式の中で、生徒の心身の健康状態の変化や問題点を早期発見するために、全職員において日常的な健康観察等の充実を図り、適切な対応ができる体制をつくります。 <b>※学年団との連携状況</b></p> <p>(2) 校内の安全点検を実施し改善していくことで、危機発生を未然に防ぎ、適切な学校環境衛生を確保します。 <b>※年 2 回以上</b></p> <p>(3) 会議・研修会を利用し、教職員の保健・教育相談分野等への知識・理解向上を図ります。 <b>※年 1 回以上</b></p>	<p>・健康チェックや昼食時の手洗徹底等は継続的に出来た。保健室来室者数はコロナ休校明けに多かった。12 月末現在 525 件 (R2 年度 560 件)</p> <p>・計画通り 2 回実施。教職員だけでなく生徒も学校環境衛生に取り組むことで意識向上を図りたい。</p> <p>・特別支援に関して 1 学年で情報共有会を実施した。全教職員での研修会は未実施。</p>
<p>改善課題</p>		

- ・ 1人1台端末を学力向上に資することができるようICT活用能力の向上に努めなければならない。
- ・ 「四西手帳」とGoogleクラスルームの活用場面を明確にし、相互の長所を活かす取組を行う必要がある。
- ・ 教育相談件数が増加している実態を踏まえ、相談体制の強化・維持に努めなければならない。
- ・ スマートフォンの校内使用等、校則について社会の変化に対応できるよう、不断の見直しを図る必要がある。

(2) 学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など  
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

項目	取組内容・指標	結果	備考
1 組織運営	<p>(1) 目指す学校像の実現のため、カリキュラム・マネジメントを推進します。 <b>※実施状況</b></p> <p>① 学期ごとを目安に、各分掌、学年で年度当初の目標の達成度、課題、改善策を検討し、それを全体で共有し、即効性のあるPDCAサイクルを構築します。</p> <p>② 日常的に分掌、学年会において業務遂行に必要な情報が適切に共有、活用されることで、課題解決について議論が進展するように努めます。</p> <p>③ 企画運営委員会において当面の教育課題に加え、中長期的なビジョンについて協議します。</p> <p>④ 教育課題に対して、柔軟かつ即効的な対応をするために、関係する企画運営委員でミーティングを随時、開催します。</p> <p>(2) カリキュラム・マネジメントを推進していくうえで、学校への信頼は不可欠です。学校信頼向上委員会を中心に、信頼向上に関して現状と課題、さらには直近の教育活動における留意点を確認し、職員全体に共有し、職員の不祥事根絶に向けた取組を行います。 <b>※職員研修の実施</b></p>	<p>・ 学期毎に主任が作成し職員会議で全体共有して状況把握に努めた。</p> <p>・ 学年主任・進路主任と管理職を交えた会議を定期的実施して生徒状況・進路指導状況の進捗管理を行った。</p> <p>・ コロナ対応や校内課題解決に時間を要し中長期的ビジョンの協議ができなかった。</p> <p>・ 懸案事項の解決のため臨時の企画運営委員会を開催し早期対応に努めた。</p> <p>・ 学校信頼向上委員会で意見等を全体共有した。コンプライアンスミーティングで「ヒアリング事例及び効果的であった指導を共有した。</p>	

<p>2 研修・研究の推進</p>	<p>(1) 高大接続改革における、大学入試共通テストや総合型選抜、学校推薦型選抜など新たな入学者選抜に適切に対応できるよう、情報収集や研修を進めます。 ※校内研修</p> <p>(2) ICT環境整備が進む中、「従来の授業と、ICT活用の授業をどのようにリンクさせれば効果的な学習に繋がるか」をテーマに研修会、情報交換を行い、研究を進めます。さらに、今後、BYODが導入される見通しの中、教員のICT活用技術を向上させる取り組みも進めます。 ※授業におけるICT利用状況</p>	<p>・大学や予備校主催の説明会(オンライン含)で情報収集し生徒の進路指導に還元した。</p> <p>・ギガスクールポーターと情報担当教員が全教員対象に研修を実施しスキル向上に努めた。ICT利用状況は7割強の教員が授業等で2回に1回以上の利用。</p>	
<p>3 業務改善と職員健康管理</p> <p>4 情報提供</p>	<p>(1) 日常的に教職員の健康管理に努めるとともにワークライフバランスの改善に向け行動します。 ※職員アンケート「健康面で不安を感じたことがない」50%以上</p> <p>① 休暇取得日数実績の向上に努めます。 ※休暇取得10日以上職員80%以上</p> <p>② 毎月、定時退校日を定め全教員が定時退校に努めます。 ※定時退校率80%以上</p> <p>③ 全クラブにおいて、授業日以外の部活動休養日を週1日設け、休養に努めます。 ※実施率90%以上</p> <p>④ 会議時間が60分以内となるように努めます。 ※主要会議の80%以上</p> <p>(2) 総勤務時間の縮減に向け継続して取り組みます。</p> <p>① 職場全体での時間外勤務平均時間数の削減に努めます。 ※前年比で-1時間</p> <p>② 当月時間外労働が45時間、年間時間外労働が360時間を超える職員の皆無に努めます。</p> <p>(1) 本校教育活動を生徒、保護者、地域社会へ効果的な情報発信に努めます。 ※報道提供1回以上</p> <p>① コロナ禍の状況も踏まえ、保護者、PTA役員等に学校行事への参観や参加を適切に呼びかけます。</p> <p>② ホームページや安心安全メールを活用し学校の情報を積極的に発信します。</p> <p>(2) 50周年記念事業に向け同窓会とも連携します。 ※同窓会との情報共有状況</p>	<p>・職員アンケート結果では51%と目標は達成。</p> <p>4/1～1/14で87%の教職員が10日以上取得し達成。(特休含)</p> <p>・10月以外の月は目標を達成した。85%。2月は退校日を設定出来ず。</p> <p>・実施率85%であった。依然、運動部が低い。</p> <p>・学年会等で60分以内に終わることが難しく66%であった。</p> <p>・昨年度4月、5月が休校だったが今年度は両月の時間外勤務平均時間が増え、全体として未達成。</p> <p>・減少傾向だが皆無にはならず1月あたり数人が超えた。</p> <p>報道取材を受けることはなかった。(未達成)</p> <p>・今年度もコロナ禍のため保護者に参加を十分に呼びかけられなかった。</p> <p>・教育相談日程や県教委からの掲載依頼情報を新たに発信しました。</p> <p>・卒業生名簿作成した。今後50周年事業に向け</p>	

		て具体的な検討を行う必要がある。
<b>改善課題</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員定数が減少するなかで業務の精選と教員間の業務平準化に引き続き取り組む必要がある。</li> <li>・クラス数及び志望者数の減少に対して対応を検討して魅力ある学校作りを目指していかなければならない。</li> <li>・全ての教職員の時間外労働時間を45時間以内に抑える目標を達成するための取組を継続しなければならない。</li> <li>・「信頼される学校」であり続けるためコンプライアンスの徹底を図り不祥事を発生させない組織であり続けなければならない。</li> </ul>		

## 5 学校関係者評価

明らかになった改善課題と次への取組方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDG'sに関する視点も取り入れた教育や啓発も検討してはどうか。</li> <li>・地域（桜地区）に根ざした活動や小中学校との交流を進めることも検討してはどうか。</li> <li>・アンケート結果から「家庭学習習慣」の項目が高くない。西高手帳の活用で学校での学習と家庭での学習を効果的に結び付ける方策を考える必要があるのではないか。</li> </ul>
---------------------	---

## 6 次年度に向けた改善策

教育活動についての改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ事案に繋がるような案件を発生させないよう人権意識を高める教育活動や教員研修を行う必要がある。</li> <li>・保護者が積極的に学校に来校してもらえるような取り組みを行う必要がある。</li> <li>・SNS利用に係るトラブルも散見されることからSNSの適切な利用や成人年齢引き下げに係るトラブル回避を目的に講演会や啓発を行う必要がある。</li> </ul>
学校運営についての改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の負担軽減に努め、総勤務時間の縮減となるように対策を継続すべきである。</li> <li>・今より学校生活が楽しくなるように、生徒（生徒会）との話し合いを行い、その意見も取り入れられるようにすべきである。</li> <li>・学校情報を積極的に発信し続けることが必要である。</li> </ul>